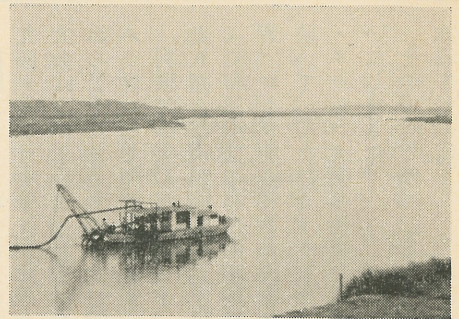


広報

とね

茨城県北相馬郡利根町役場
昭和43年10月10日発行 第54号



利根中学校建設委員会委員名簿

職名	氏名
町議会議長	◎小島栄一郎
助役	◎三谷俊雄
教育厚生委員長	◎大竹治
教育委員長	◎香取利夫
町議会副議長	角田真作
町議会議員	永田英吉
"	鈴木吉
"	矢沢利平
"	石井福潔
"	杉山
"	野口栄一
"	長谷川光男
"	寺島康三
"	古田始
"	野口昭治
"	上原欽昌
"	鈴木嘉
"	坂田水之助
"	中村松治郎
収入役	山中林
総務課長	伊藤益二
産業経済課長	鈴木美喜男
教育委員	師岡保
"	大竹智海
"	目本昭
"	大越恒郎
農業委員長	杉野正一
農委事務局長	篠崎金夫
利根中学校長	藤後忠義
P T A 会長	武藤英夫
"	加藤幸助
◎ 印 会長	◎ 印 副会長

利根中学校統合校舎いよいよ着工

利根中学校統合校舎建設に当たりましては、皆々様の多大なるご協力により、用地の買収、整地も完成いたし、いよいよ着工の運びとなりましたので、その概要をお知らせして、今後ともご協力をお願いしたいと存じます。

1. 統合中学校建設場所

利根町大字布川字台1,377番地(代表)利根中学校布川教場の北西約300メートルのところ。

2. 学校用地面積

2.3ヘクタール。

学校用地の買収に当たりましては、地主、耕作者の皆様のご協力と、地元議会議員その他有志のご尽力によるものでございます。

3. 建設計画

(イ) 構造 鉄筋コンクリート3階建および鉄骨平屋建。

(ロ) 建築面積 3,646平方メートル。

(ハ) 用途区分

○普通教室 13室

○特別教室 9室

図書閲覧室、理科室、調理教室、家庭科教室、技術科教室(木工室、金工室)音楽室、美術教室、視聴覚教室。

○管理室その他 14室

職員室、校長室、事務室、応接室、玄関、保健室、宿直室、用務員室、放送室、資料室、配ぜん室、便所(各階2か所、計6か所)廊下、屋上に天体観測室。

【注】なお、屋内運動場、給食室は本工事完成後建設する予定

4. 工事費

総額1億1千5百80万円。

内訳は次のとおり

第1期工事費 3千3百26万9千円

第2期工事費 5千5百19万円

第3期工事費 2千7百34万1千円

5. 請負業者

茨城県鹿島郡神栖村賀1666 常総開発工業株式会社

6. 地鎮祭、起工式

地鎮祭 昭和43年8月28日

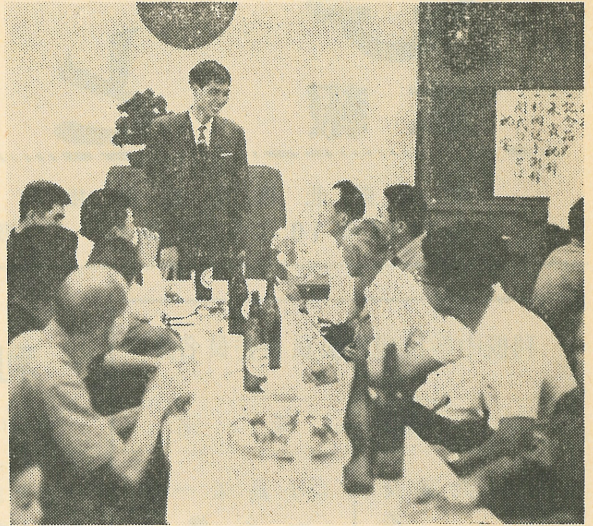
起工式 昭和43年9月19日

7. 完成予定期日 昭和45年7月20日

走り高とびの杉岡選手

メキシコ・オリンピックへ出場

国際スポーツの祭典、第九回メキシコ・オリンピック大会は、いよいよ十月十三日から二十八日までの十六日間メキシコ市で開催されます。利根町が生んだヒーロー、走り高とびの杉岡邦由選手は(昭和三十二年布川中学校卒業)ローマ大会、日本大会に続いて、三たびオリンピック・メキシコ大会へ出場と決定いたしました。



写真は、地元内宿のみなさんとにこやかに歓談される杉岡選手

議室で、ささやかながら壮行会を開催し、加納町長はじめ議会議員、地元内宿のみなさん、同窓生のみなさん、その他町の関係者が一堂に会し、記念品を贈って同選手の出発を祝福いたしました。

オリンピックに三回連続出場する選手は、世界的にも珍しく、同選手の十数年に及ぶたゆまざる努力には頭の下がる思いがいたします。

町民こそぞって声援をおくりましょう。

青年会だより

機関紙「仲間」の原稿募集

利根町青年会では、これも会活動のまとめとして、機関紙「仲間」(文集)の作成を計画しております。

ことしは、会活動の視野を広め、明るい町づくりを推進しようというスローガンで、一般の町民の皆さんからも、意見や声を募集することになりました。青年会活動に対する意見や批判、または町に対する意見や住民の声などでも

けっこうです。

どんな小さなことでもどしどしご意見をお寄せください皆さんの熱意あるご支援をお待ちしております。

● 応募規定 ●

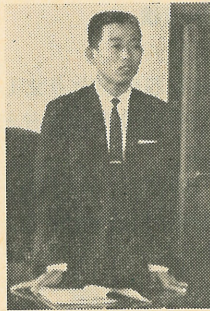
○ 四百字詰め原稿用紙に五枚以内

○ 締め切りは十二月三十一日

○ 原稿の送り先は、利根町役場内教育委員会です。

飯田 勲さん

東南アジアへ出発



すでに広報とね八月号で詳細をお知らせしましたが、元青年会長の飯田勲さん(大字押戸九九七番地)は、先月二十七日「青年の船」に乗船して、東南アジアへ約五十五日間にわたる国際親善の旅に出発いたしました。

今月の納税【10月】

- 町県民税 (第3期)
- 国民健康保険税 (第3期)
- 自動車税 (第2期)
- 水道使用料

10月の暮しのメロ

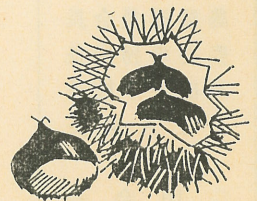
十月は「天高く馬こゆる秋」とむかしからいわれています。その馬を見ることが少なくなりました。馬はともかくこの月は、たくさんのおいしい食べ物にめぐまれ、一年中でいちばんよい季節といわれます。まず十分に食べ、やがてやってくる厳しい冬に耐えるように、おおいに体力の蓄積にはげみましょう。

▼共同募金(一日)：赤い羽根の募金です。十二月の末まで続けられます。

▼十五夜(六日)：一年中でこの夜の月が最も澄んで美しいとされています。穂すきをさし、新芋や栗・枝豆あるいはだんごなどを供えて月を祭ります。

名月や池をめぐりて夜もすがら 松尾芭蕉

▼寒露(八日)：寒露とは露が寒冷の気になって凍る手まえにあるという意味で



明治百年頌歌の利用を……

明治百年を記念する行事の一環として、昨春秋、国がNHK・民間放送連盟・新聞協会及び蓄音機レコード協会の四団体の協賛を得て「明治百年頌歌」の歌詞を一般から公募しましたが、全国から四千百十三点の応募がありました

これらの作品を審査委員会で厳重審査の結果、岩手県の会社員滝田常晴氏の作品が入選作と決定しました。歌詞は詩人のサトウ・ハチロー氏と勝承夫氏の共同補作で、作曲は音楽家の外山雄三氏によって行なわれたものです。

この入選歌詞および曲の著作権は現在、国にありますので譜面等をご希望のかたは、次へ連絡のうえ活用してください。使用料は不要です。

連絡先 東京都千代田区永田町一の六内閣総理大臣官房 (明治百年)

(頌歌) のぞみあらたに

一、光あり誇りありここに百年ふりかえる明治のあゆみこのくにのいやます榮えうけつぎてさらに進まんわれらわれら
のぞみあらたに

二、響きあり応えありここに百年たたくまじき明治の力たたえつつ試練をかさね大いなる道を拓かんわれらわれら
つねに励みて

三、稔りあり泉ありここに百年豊かなる明治のころことほぎて香りをうつしよろこびをとにもうたわんわれらわれら
空を仰ぎて

任期満了の町教委に

大越・大竹両氏を任命

町は九月三十日、任期満了となった大越恒郎・大竹智海両教育委員の後任人事について検討した結果、両氏とも留

任することに内定、第六回臨時議会に上程して承認をもとめた結果、満場一致で留任と決定した。

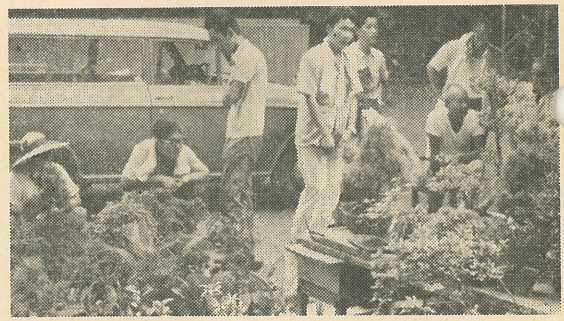


赤い羽根募金のお願い

ことしも十月一日から「赤い羽根」の共同募金が始まっております。昨年はいろいろと話題になりましたが、結局は、町民のみなさんの暖かいおこころざしにより、予期以上の成果を上げ心から感謝いたしております。

実はこの募金運動も、福祉事業の一環として、年々内容も充実し、各種施設の増強、生活困窮者の援護等に活用されております。さらに昨今は交通事故の増加に伴い、暗いニュースが毎日のように新聞やテレビで報導されておりますが、このような不幸に直面した人たちの更生のためにも格段のご協力をお願いいたします。近く、近目中に婦人会や区長のかたがたがお伺いいたしますので昨年以上のご援助のほどを重ねてお願い申し上げます。

共同募金会利根分会長
利根町社会福祉協議会長
加納久頭



利根町盆栽会

盆栽愛好家の集まりです。昭和三十九年十月会田鶴松氏を会長に発足したもので、当時は早尾老人会と申しておりましたが、その後四十一年四月に利根町盆栽会と改称し、てしおにかけた盆栽を愛好家同志が持ち寄って交換会(写真)を行なっております。くわしくは次のとおりです。

期日 毎月第四日曜日午前
十時から
場所 早尾天満宮
会費 100円(昼食付)
希望者はどなたでも入会自由。現在の会長は海老原保さんで、会員は五十余名です。

すが、この時期が日本の秋として一番美しく空気もさわやかで、さらに山野のめぐみ豊かな最高の季節といふことができます。

▼体育の日(十日)：国民の祝日に関する法律の改正により、昭和四十一年から新たに設けられた祝日です。この「体育の日」設定の趣旨に基づき、国民がありとあらゆる時と場所を利用して、それぞれの実情に即したスポーツを楽しむようにしたいものです。

▼鉄道記念日(十四日)：明治五年十月十四日新橋、横浜間二十九ギガに鉄道が開通しました。

▼貯蓄の日(十七日)：この日を中心に、優良「こども銀行」の表彰その他貯蓄功績者の表彰など、全国的にいろいろな貯蓄運動が行なわれます。

▼読書週間(二十七日)：この日からはじまります。良書を選んで家族そろって灯火に親しみましょう。

▼草花の移植：先月まいいた草花を移植し、アネモネやチューリップなどの球根類を植え付け、来年の春を楽しみましょう。

商工会だより

◆講演会

十月二十八日(月曜日)午後一時から公会堂で開催いたします。昨年、ヤカンや二炒ピンは、どんなふうに包んだらよいか。お客様はどんな店が好きかなどを教えてください。

田敏治先生が来町され「これからこの商店」という題でお話してください。聞かなければ損をする」という副題がついています。一店一名は必ずご出席くださるようお願いいたします。

◆茨城県火災共済からお知らせ

昭和四十二年度中の契約者で、災害にあわれたかたは、三十三件。そのうち九月から三月までの下半期で二十一件になります。不慮の災害に備

えて、企業のための掛金が安く、配当がつく茨城県火災共済制度をご利用ください。商工会事務局で受け付けをしております。

◆九月の講演から

先月十七日午後七時三十分から行なわれた中小企業診断員土田剛先生の講演の内容をぜひ載せてほしいとの声がありました。紙面の都合でできませんので、あとでパンフレットを作成して配布する予定です。非常に参考になる内容ですので、その時よく読んでください。

(利根町商工会事務局)

台風と電気

九月と十月が台風の一番多い月です。襲来するたびに、

発表される被害金額は、たいへんなものですが、この自然の猛威だけは、どうすることもできません。そこで家庭で備える台風対策のお話です。
台風とは：南太平洋に発生し、フィリピン、中国、日本などを襲う熱帯性の低気圧でその正体は、秒速十七メートル以上の巨大な空気のうちまでそのエネルギーは、原爆の千個分といわれています。
一般家庭の注意：おもに電気に関する注意事項をお話ししましょう。
(事前対策) 雨戸の補強など台風予報がでても間にも間に合うが、電線は日ごろから注意しておくこと。
①引込線が屋根に触れそうになつていないか。
②テレビのアンテナや煙突の支線が風にゆれて電線に触れておきる断線や漏電事故が多いのでご注意ください。



十一月十三日は 県民の日です

「県民の日」は、ことしの三月の県議会で十一月十三日と定められました。

十一月十三日は、明治四年のこの日に、徳川以来の藩を廃して新しく県を置くことが定められ「茨城県」の名がはじめて生まれた記念すべき日です。

広報文芸

短歌： 羽中 佐藤 林

はまゆうの船に揺られて大島へわれむつまじく友と旅する情けとアンコウの笑顔

大島を離れて恋し元町の島の伊豆の旅迎えられたる暖海荘夜のふけるまで語り合いつつ

羽中 古田たけ 限りなく続くうなばらながめつつ伊豆の旅をばわれは楽しむ

大島へ出て行く船の上にして旅の心はひとしおはずむ 老いの身も忘れてしばし三原山の頂上の景をながめをりわれば

町勢 (昭和43.10.1 現在)	
世帯数	1,769
人口	8,692 {男 4,242 女 4,450}
発行所	利根町役場
町長	加納久頭
編集	総務課 広報係
電話	【利根】(029768) 9・69・108番
印刷	倉沢印刷株式会社